

4章

取組事例

- ナカメでは、まちづくりの目標に掲げる方針に関する取組をナカメエリアマネジメントや目黒区が中心となりながら、公民連携で推進しています。
- これらの取組を、ナカメの将来像を実現するための取組の「芽」として推進していきます。

01

ウォーカブルネットワーク

歩いて巡りたくなるようにナカメ内外の魅力をつなぐ



【目黒川沿いの区道の歩行者優先道路化】



【店舗でのオープンスペースの確保・ガラス張り化】

02

まちなか拠点

ひとやまちの魅力に出会える拠点をつくる



【目黒川船入場でのキッチンカー出店】



【区立合流点遊び場でのイベント開催】

03

やすらぎのあるまち

ひとにやさしく安心できるまちをつくる



【地域の関係者で取り組む清掃活動】



【桜開花時期の課題解決】



【子どもの活動・体験の場づくり】

04

クリエイティブなまち

多様な活動とつながりから活力が生まれるまちをつくる



【旧川の資料館を活用した coworking スペースの開設】



【ナカメの資源を活かしたお土産開発】



【公共空間での音楽演奏】



【タウンミーティングの開催】

05

情報や技術が活躍するまち

暮らしを豊かにする情報発信やデジタル技術活用を展開する



【駅前エリアでの情報発信拠点の設置】



【ローカルメディアの制作】

5章

今後の展開と推進体制

1 リーディングプロジェクト LP

- 未来ビジョンの推進にあたり、以下の取組を短期的に推進するリーディングプロジェクトとします。
- なお、取組内容は、社会経済情勢や地域の変化、人々のニーズの変化を踏まえて適宜柔軟に見直します。

まちづくりの目標

01

ウォークアブルネットワーク

取組 1. 目黒川沿いを中心とした歩行環境向上の推進

社会実験等を行いながら、歩行者優先道路化や沿道店舗のセットバックによるオープンスペースの確保、ベンチの設置、みどりの更新・充実、既存建物の外観を活かしたリノベーションなど、エリア内の歩行環境向上を推進します。

取組 2. 目黒川沿いやみどりの散歩道を楽しくまち歩きできる環境の整備

ナカメと隣接する池尻大橋・代官山・祐天寺など周辺エリアやみどりの散歩道の回遊を促進するため、案内板の設置や改修、舗装や照明、ベンチ等の改修などを進めていきます。

取組 3. GSUC構想のフラッグシップ拠点への回遊路整備をきっかけとした地域連携によるまちづくりの推進

施設利用者が目黒区側へ有効に接続できる動線の確保や、目黒区側の地域住民が恵比寿駅へ円滑に移動できる通路の整備などのほか、ナカメの新産業拠点として国際交流や産業創造等を促進していきます。

まちづくりの目標

02

まちなか拠点

取組 4. 交通結節点としての駅とまちとの連携強化

中目黒駅や駅前横断歩道の利用者による混雑の解消や、駅を拠点とする代官山や池尻大橋への回遊性向上への取組を検討・推進していきます。

取組 5. 質の良いトイレの設置・改修・維持

対象エリア内にある目黒川船入場・中目黒一丁目児童遊園・伊勢脇公園・八幡公園内の便所や、南部橋公衆便所・正覚寺公衆便所について、高齢者や障がいのある人、乳幼児等子ども連れなどすべての人が、安心して気持ち良く利用できるトイレの整備を進めていきます。

取組 6. 広場や公園の公民連携による整備・更新・利活用

「ナカメをデザインする会議。」のメンバーをはじめとする地域の関係者と連携しながら、広場や公園等において、施設・設備の改修、新たな利便施設(カフェ等)の設置、ベンチの設置など、公民連携による整備・更新・利活用を推進します。

まちづくりの目標

03

やすらぎのあるまち

取組 7. 桜開花時期におけるサステナブルツーリズムの実践

桜開花時期の課題解決に向けて、リユースカップ活用の推進や店舗等との連携によるゴミの回収など、サステナブルツーリズムの実践のための取組を推進します。

まちづくりの目標

04

クリエイティブなまち

取組 8. ナカメの事業者等の交流による新たなビジネスの創出

ナカメにおける事業者やデザイナー、研究者など様々な人の交流を促す拠点形成や情報発信により、協業や商品開発などの新たなビジネスを創出します。

まちづくりの目標

05

情報や技術が活きるまち

取組 9. ローカルメディアの制作

住む人・働く人・訪れる人など様々な人が、ナカメの魅力を発見・再発見して、まちへの愛着や様々なつながりをもつことができるローカルメディアを制作します。

「まちなかウォークアブル推進事業」等によるまちづくりの推進

ナカメ未来ビジョンに掲げた取組を着実に推進するため、「まちなかウォークアブル推進事業」による都市再生整備計画の策定など、国の制度や事業を有効活用し、事業を推進します。

2 ロードマップ

●短期的には、リーディングプロジェクトを推進しながらも、中期・長期的には、各まちづくりの目標に掲げた各取組を検討して実施します。



まちづくりの目標 **01 ウォーカブルネットワーク**

LP 取組 1. 目黒川沿いを中心とした歩行環境向上の推進
 道路活用等の社会実験⇒定期的な実施 → 利活用の継続

LP 取組 2. 目黒川沿いやみどりの散歩道を楽しくまち歩きできる環境の整備
 案内板・ベンチ等の設置や改修 → 環境整備

LP 取組 3. GSUC 構想のフラッグシップ拠点への回遊路整備をきっかけとした地域連携によるまちづくりの推進
 回遊路整備及び地域連携策に関する関係機関との調整・協議 → 国際交流や産業創造の促進

その他の取組の展開
取組検討～実施

ウォーカブルネットワークの構築に向けた事業・活動の継続

まちづくりの目標 **02 まちなか拠点**

LP 取組 4. 交通結節点としての駅とまちとの連携強化
 混雑解消や回遊性向上に向けた検討・協議 → 実施

LP 取組 5. 質の良いトイレの設置・改修・維持
 トイレ整備の方針検討、改修に向けた設計・整備 → 順次改修整備

LP 取組 6. 広場や公園の公民連携による整備・更新・利活用
 新たな利活用に向けた社会実験 ⇒ 定期的な実施 → 利活用の継続

施設・設備の改修及び利便施設・ベンチの設置等の検討 → 実施

その他の取組の展開
取組検討～実施

まちなか拠点の形成に向けた事業・活動の継続



まちづくりの目標 **03 やすらぎのあるまち**

LP 取組 7. 桜開花時期におけるサステナブルツーリズムの実践
 リユースカップの活用や店舗連携によるゴミの回収などの試行 → 仕組みの構築

その他の取組の展開
取組検討～実施

やすらぎのあるまちの実現に向けた事業・活動の継続

まちづくりの目標 **04 クリエイティブなまち**

LP 取組 8. ナカメの事業者等の交流による新たなビジネスの創出
 協業や商品開発などに向けた交流の場・機会の創出 ⇒ 実践 → 協業や商品開発の継続

協業や商品開発の促進のための目黒川船入場等の環境整備 → 新たな拠点の形成

その他の取組の展開
取組検討～実施

クリエイティブなまちの実現に向けた事業・活動の継続

まちづくりの目標 **05 情報や技術が活きるまち**

LP 取組 9. ローカルメディアの制作
 ローカルメディアの制作 ⇒ 公開 → 情報発信

その他の取組の展開
取組検討～実施

情報や技術が活きるまちの実現に向けた事業・活動の継続

LP 取組 「まちなかウォーカブル推進事業」等によるまちづくりの推進

計画策定 → 事業の実行 → 評価～更新

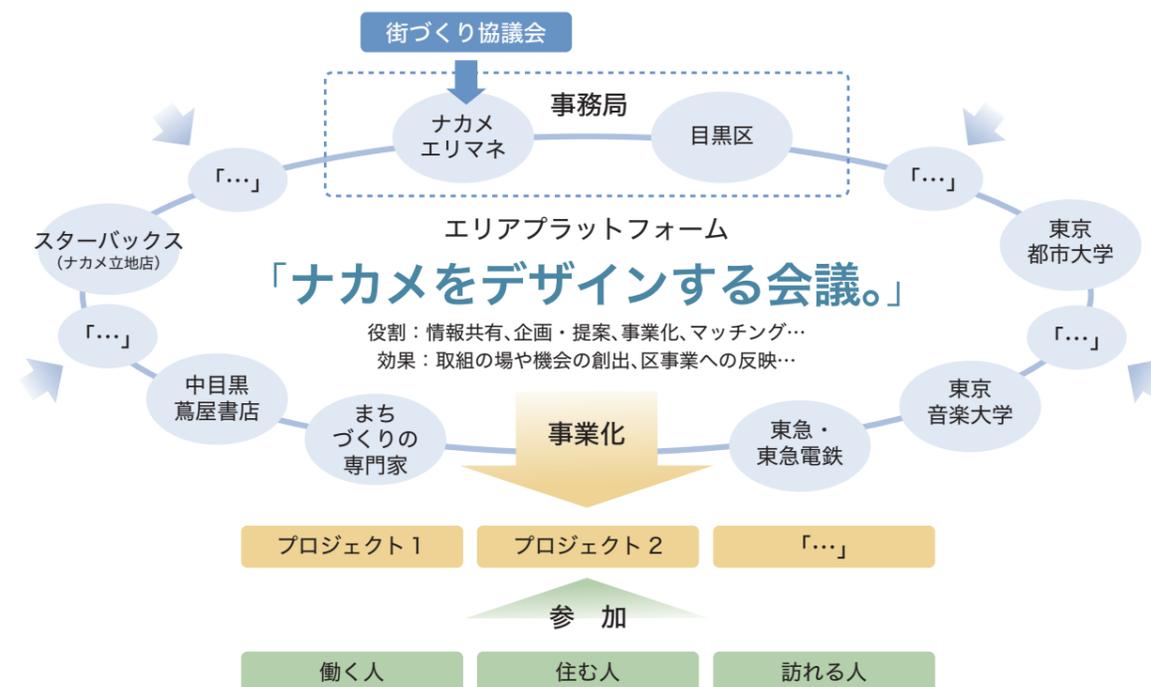
3 体系図

まちづくりの目標	まちづくりの方針	リーディングプロジェクト
ウォークラブルネットワーク	方針 1. 歩行者ファーストのゆとりのある環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> 目黒川沿いを中心とした歩行環境向上の推進 目黒川沿いやみどりの散歩道を楽しむまち歩きできる環境の整備 GSUC 構想のフラッグシップ拠点への回遊路整備をきっかけとした地域連携によるまちづくりの推進
	方針 2. 歩行空間の魅力向上	
	方針 3. 憩い・くつろげる環境の確保	
	方針 4. 周辺エリアとのつながりの強化	
まちなか拠点	方針 1. 駅周辺での滞留・回遊を生み出す場の創出	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点としての駅とまちとの連携強化 質の良いトイレの設置・改修・維持 広場や公園の公民連携による整備・更新・利活用
	方針 2. 魅力あふれる水辺の整備と利活用	
	方針 3. 民間のオープンスペース等の憩いや交流の場としての利活用	
	方針 4. 公園の新たな憩い・交流・回遊を生み出す場としての充実	
	方針 5. 個性的な新産業を創出する拠点の形成	
やすらぎのあるまち	方針 1. まちなかの身近なみどりの保全と充実	<ul style="list-style-type: none"> 桜開花時期におけるサステナブルツーリズムの実践
	方針 2. 桜開花時期等におけるサステナブルツーリズムの実現	
	方針 3. 落ち着いたある景観や環境の保全	
	方針 4. 災害時の対策・受入態勢の強化	
	方針 5. ナカメで暮らす人々に優しく安心して暮らせる環境の充実	
	方針 6. 多様な人々が安心して楽しく過ごせる環境の充実	
クリエイティブなまち	方針 1. 店舗・施設集積・定着の誘導	<ul style="list-style-type: none"> ナカメの事業者等の交流による新たなビジネスの創出
	方針 2. ナカメの資源を活かした商品・サービス開発の促進	
	方針 3. まちなかでの文化・芸術の発信	
	方針 4. 文化や芸術を学び・体験できる場の創出	
	方針 5. 世代を超えて多様な人々が出会い・つながる場や機会の創出	
	方針 6. 個性的な新産業や多様な働き方・チャレンジできる環境の創出	
情報や技術が活きるまち	方針 1. 駅前エリアでの情報発信機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ローカルメディアの制作
	方針 2. まちの魅力を発信してつながりを生むメディアづくり	
	方針 3. まちづくり活動にデジタル技術の活用	
	方針 4. まちなかでデジタル技術を実装できる環境づくり	

4 推進体制

- ナカメエリアマネジメントと目黒区が中心となって、エリアプラットフォームである「ナカメをデザインする会議。」を運営し、活動状況の定期的な情報共有と進行管理を行いながら、メンバー間で関連する取組の提案・アイデア出し・企画・マッチングを行い、公民連携によるプロジェクトの事業化、区事業への反映を図ります。
- さらに、推進力の確保・向上を目指し、ナカメエリアマネジメントの体制強化のため、「ナカメをデザインする会議。」の運営を通じて会員・パートナーの加入促進や、都市再生推進法人の指定を目指します。

「ナカメをデザインする会議。」の名称は、これからの中目黒を様々な人と「一緒に考えて、問題を解決する=デザインする」という会議体の目的を名前としました。末尾に「。」を使うことでキャッチコピーとして強調して、より多くの人に広く認知してもらいたいと考えています。



- 推進策 1 定期的な情報共有と進行管理**
ナカメエリアマネジメントと目黒区が中心となって「ナカメ未来ビジョン」の推進に資する活動の定期的な情報共有と進行管理を行います。
- 推進策 2 メンバー間での情報発信・連携**
「ナカメをデザインする会議。」メンバー等が、まちづくりに資する取組を「考えたい・アイデアをもらいたい・メンバーを募集したい」時に、SNS・チャット等のデジタルツールも活用しながら発信・連携します。
- 推進策 3 アイデアワークショップ・プロジェクトへの参加機会の創出**
推進策2で掲げた、メンバー間での情報発信・連携を通じて、プロジェクト実施に向けて深度化を図る必要がある場合には、協議の場やワークショップを開催しながら、広く参加メンバーを募ります。